

●預金保険対象商品と保護の範囲は？

|           |                              | 平成14年4月から<br>平成15年3月まで                | 平成15年4月から<br>平成17年3月まで | 平成17年4月から                        |
|-----------|------------------------------|---------------------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 預金保険の対象商品 | 当座預金                         | 全額保護                                  |                        | 決済用預金として<br>全額保護<br>(利息のつかないもの)  |
|           | 普通預金                         |                                       |                        |                                  |
|           | 定期預金<br>定期積立<br>ビック<br>ワイドなど | 合算して元本1,000万円まで<br>とその利息の最低保障(注)      |                        | 合算して元本1,000万円まで<br>とその利息の最低保障(注) |
| 対象外商品     | 外貨預金<br>譲渡性預金<br>ヒットなど       | 金融機関の財産状況に応じて支払い<br>(一部カットされることがあります) |                        |                                  |

(注) 最低保障を超える部分は、金融機関の財産状況に応じて支払われます。

●預金保険の対象となる商品にはどのようなものがありますか？

当座預金、普通預金、別段預金、定期預金、通知預金、納税準備預金、定期積立、貯蓄預金、掛金、金融債（ワイドなど保護預かり専門商品に限る）、元本補てん契約のある金銭信託（ビックなどの貸付信託を含む）

●預金保険制度に加入している金融機関

銀行（日本国内に本店のあるもの）、信用金庫、信金中央金庫、信用組合、全国信用協同組合連合会、労働金庫、労働金庫連合会

※農協、漁協、水産加工業協同組合などの系列金融機関は、別途、農水産業協同組合貯金保険制度に加入しています。（詳しくは、農水産業協同組合貯金保険機構☎03-3285-1272、ホームページ<http://www.sic.or.jp>までお問い合わせください）

こうなります

新しい

預金保険制度

平成17年4月以降は、当座預金などの利息のつかない預金は「決済用預金」(注)として全額保護され、定期預金や利息のつく普通預金などは、預金者一人当たり、元本1,000万円までとその利息が最低保障されます。具体的にどの預金が「決済用預金」に該当するかなどの詳細は、金融機関の窓口などにお問い合わせください。

(注) 決済用預金は、「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3条件を満たすものです。

◆問い合わせ先

預金保険機構 (☎03-3212-6029、ホームページ<http://www.dic.go.jp/>)、北海道財務局 (☎011-709-2311) または金融機関窓口にお問い合わせください。

# 北方領土はわが国固有の領土

◆位置・面積など

北方領土は、北海道本島の北東の洋上に連なっていて、歯舞諸島は、根室半島の延長線上3.7kmの沖合いから北東に点在する貝殻島、水晶島、志発島などからなっています。色丹島は、歯舞諸島の北東22kmにあり、国後島は、根室半島と知床半島のほぼ中間に位置し、野付半島の沖合い16kmの地点から北東に伸びる全長122kmの島です。また、択捉島は国後島の北東22.5kmに位置する全長204kmの島です。

四島を合わせた面積は、5,036km<sup>2</sup>で、この面積は千葉県の広さと同じくらいで、厚真町の面積の12倍以上の大きさです。

◆当時の人口

北方領土には、1945年8月15日の終戦当時、17,291人が住んでいましたが、1948年までに強制的に退去させられ、その約8割が北方領土に隣接する北海道に居住しました。

◆当時の産業

北方海域は、寒流と暖流が交錯しているため、豊富な水産資源に恵まれ、古くから世界3大漁場の一つに数えられています。主な水産物は、「昆布」、「サケ・マス」、「たら」、「タラバガニ」などで、当時の水揚げは、昭和14年から16年までの3カ年を平均すると約21万トンで、北海道全体の23%を占めていました。

漁業に加え、国後島、択捉島では、林業、サケ・マスのふ化事業、鉱業（硫黄、金、銀）が、国後島では畜産業（馬）などが行われていました。

◆自然

オオワシやシマフクロウ、エトピリカなどの珍しい鳥類、クジラやシャチ、イルカなどの大型のほ乳類のほかラッコやアザラシなどのかわいい動物、陸上でもヒグマやクロテンなどの珍しいほ乳類がいます。

ロシア側では、四島の広い範囲で「自然保護区」を設定していますが、密漁などで貴重な自然が壊されているという情報もあります。

※歯舞諸島は、「歯舞群島」と表記することもあります。

～断固たる決意と熱意で四島返還～

えとろふ くなしり しこたん はばまい  
 択捉島、国後島、色丹島、歯舞諸島からなる北方四島は、わが国固有の領土であることを今こそ心にとどめよう。ひとりひとりの島への熱い思いが、返還実現への近道です。

